

東日本大震災復興対策本部会合（第4回） 議事録

1 日 時：平成23年7月29日 20:10～20:35

2 場 所：官邸2階 小ホール

3 出席者：（※代理含む）

【本部長】菅直人内閣総理大臣

【副本部長】枝野幸男内閣官房長官〈進行〉、平野達男東日本大震災復興対策担当大臣

【本部員】片山善博総務大臣、江田五月法務大臣・環境大臣、松本剛明外務大臣、野田佳彦財務大臣、高木義明文部科学大臣、細川律夫厚生労働大臣、鹿野道彦農林水産大臣、大畠章宏国土交通大臣、北澤俊美防衛大臣、中野寛成国家公安委員会委員長、自見庄三郎国務大臣、細野豪志国務大臣、与謝野馨国務大臣、玄葉光一郎国務大臣、仙谷由人内閣官房副長官、福山哲郎内閣官房副長官、瀧野欣也内閣官房副長官、末松義規内閣府副大臣（宮城現地対策本部長）、津川祥吾国土交通大臣政務官（岩手現地対策本部長）、吉田泉財務大臣政務官（福島現地対策本部長）、山口壮内閣府副大臣、松下忠洋経済産業副大臣、阿久津幸彦内閣府大臣政務官、浜田和幸総務大臣政務官

4 配布資料

○東日本大震災からの復興の基本方針案

5 議事次第

1. 開会

2. 議事

○東日本大震災からの復興の基本方針について

3. 内閣総理大臣挨拶

4. 閉会

6 議事録

枝野官房長官：ただ今から、第4回東日本大震災復興対策本部を開催します。6月23日の第1回本部において、総理から復興の基本方針について7月中に取りまとめるようご指示をいただいた。これを受けて、本部において議論を積み重ねるとともに、地方の声を十分に聴いたほか、与党との協議も集中的に行ってきたところであります。本日は、基本方針の取りまとめについてお諮りしたいと思う。早速議事に入らせていただく。平野復興対策担当大臣から、基本方針案についてご説明をお願いします。

平野復興担当大臣：遅い時間にお集まりいただきありがとうございます。これまでの各省庁との協議に精力的に対応いただきありがとうございます。各省との協議、地方公共団体からの意見聴取、さらに与党との調整、与党との調整もかなり精力的にやっただき、この時間帯となった。与党との調整を終え、基本方針の案文をつくったのでご報告する。この基本方針は、東日本大震災からの復興に向けた、国による復興のための取り組みの基本方針。被災した地方自治体による復興計画等の作成に資するため、国による復興のための取り組みの全体像を明らかにするものである。

(※以下、資料により方針案の説明)

枝野官房長官：ただ今の方針案についてご発言はいかがか。

細川厚生労働大臣：前回の会議でも発言したが、第一次補正予算を組む際に、基礎年金 2.5 兆円を 3 次補正の時に、元に戻すと話し合われた。2.5 兆円については財源規模にプラスされるという理解で良いのか。

玄葉国務大臣：本日、自民党・公明党との政調会長会談において、1 次補正で流用した年金 2.5 兆円の穴埋めには、復興債を充てると内々確認した。最終的には幹事長・政調会長会談をできるだけ早く開きそのことも含めて正式に合意しようという予定である。これを踏まえて、今後、対応していきたい。

細川厚生労働大臣：3 党協議で決まれば、この方針に加えて、年金の穴埋め財源を確保するということか。

枝野官房長官：年金の穴埋めは直接復興そのものではないが、財政的スキームとしてはそういう整理になる。

自見国務大臣：国民新党に協議をいただき、郵政事業についても基本方針へ入れていただき、ありがとう。

松本外務大臣：昨今の円高もふくめて経済状況が非常に厳しい。復興財源の確保に当たっては、経済見通し等を勘案していただきたい。

枝野官房長官：よろしいですか。それでは復興対策本部として基本方針を、本案の通り決定したいと思うが、御異議はいかがか。

(「異議なし」の声)

枝野官房長官：御異議がないようですので、本案のとおり決定する。最後に総理からご挨拶をお願いします。

菅総理大臣：ただ今の復興対策本部において「東日本大震災からの復興の基本方針」が決定された。とりまとめに当たられた関係閣僚さらには与党関係者、また多くのみなさんに本当に大変な努力をいただき、心から感謝を申し上げ、お礼を申し上げます。

基本方針には、地方の意見も踏まえ、講ずべき具体的な施策と事業規模、財源を盛り込

み、「本格復興」に向けた政策の全体像が示されたと思っている。

今後は、この「基本方針」に基づいて、各府省において諸施策を早急に実施すること、またこの方針を、復興の現場である地方に丁寧に説明するとともに、国を挙げた復興について国民の理解を得ること、さらには、財源確保のため、一層の歳出削減と税外収入の確保に徹底的に取り組むこと、また税制措置については政府税調において議論を開始することが必要である。

さらに、この基本方針に基づき、本格的復興のための第3次補正予算を編成していくことになる。

被災地域の再生と被災者の生活の再建、そして活力ある日本の再生のため、総力を挙げて復興への取組を着実に進めてまいりたい。引き続き、本部員各位のご協力を心からお願いを申し上げる。

あらためて、関係者のご努力に重ねて感謝申し上げ、私からのこの決定にあたってのお礼の言葉とさせていただきます。どうもご苦労様でした。

枝野官房長官：ありがとうございました。基本方針につきましては、平野復興大臣から記者会見を開いていただき、説明をしていただく。以上で、第4回東日本大震災復興対策本部を終了する。どうもありがとうございました。

(以 上)